

日本大学第三学園生徒支援会レター



【第37号】



令和4年3月発行
生徒支援会PR委員会

ご卒業おめでとうございます

今年度卒業の皆さんは、部活動や行事など思いもよらない制約を受ける中で、もどかしい気持ちのまま卒業を迎えてしまった方もあるでしょう。

令和三年は例を見ない条件下でオリンピックとパラリンピックが開催されました。ようやく制限が緩和され始めた中、新たな脅威がニュースで伝えられました。思い通りにならず、悔し涙をこぼす人々の姿が報道される一方で、心を和ませてくれたのが、困難の中にあつての頑張る姿、助け合いや感謝にあふれた数々の言葉でした。一人きりではどうにもならない時、支え、助けてくれる誰かが居ること。そんなことに気が付く機会を与えられたように思います。

卒業生の皆さん、確実に勉強以外の何かを学べたことを忘れないでください。同じ困難を体験した同級生の存在を忘れないでください。皆さんにとって今日より明日が少しでも良い日になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

保護者の皆様、長い間支援会活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございました。

「育児は育自」という言葉を座右の銘として、長い間子育てをしてまいりましたが、そのうち半分の年月を日大三中、三高でお世話になりました。我が子同様、私自身も貴重な経験をさせていただき、たくさんの素敵な出会いをいたしました。

多くの学びと宝物を頂けたことに感謝し、心より御礼申し上げます。

生徒支援会会長 山下 由季

高校3年学年委員会

コサージュへ思いを込めて・絆・

Congratulations on your graduation!

思い描いていた色鮮やかな高校生活のほとんどを経験、体験出来ず、それでも沢山の仲間、先生方と共に乗り越えてきた卒業生。

学年委員会ではお祝いとしてコサージュを送らせていただいておりますが、今年度は、そのコサージュにプリザーブドフラワーを用い、中でも一段と華やかなオレンジの薔薇を選びました。

永遠の絆、情熱、プライド
仲間、先生方との絆、何事にも情熱とプライドを持ち続けて前に進んで行く卒業生の輝かしい未来へのエールとしていただければ嬉しく思います。卒業という晴れやかな門出に彩をそえて、ひとつひとつ心を込めて丁寧に手作り出来たことを、委員一同幸せに思います。

卒業生皆さんのこれからのご活躍を切に願っております。

高校3年学年委員長 平本明美



中学3年学年委員会

～卒業記念品制作～

今年度もコロナ禍で例年行っている行事が無くなり色々な制限がある中で、子供達は「今やるべきことは何か」「今できることは何か」と一生懸命考えながら過ごして来たと思います。そんな子供達の普段の学校生活で少しでも役に立つものは何かを考え、今年度はiPadで使える「タッチペン」を記念品として選定しました。中学3年間は予期せぬ経験と思いがあつたと思いますが、この経験と思いを糧に高校生活は沢山の事にチャレンジして欲しいと願っております。

中学3年学年委員長
齊藤 京

